

1 (令和7年10月分)

種類	市況の概要
(水産物部の動向)	
水産物全般	<p>10月の総入荷量は前年同月比で11%下回り、総取扱金額は前年同月並みであった。</p> <p>11月は、たらが美味しい季節を迎える。この時期のたらは、身が厚く、脂が少なく淡泊ながらも濃厚な風味がある。焼魚をはじめムニエルやフライ、鍋など様々な食べ方で旬を味わってほしい。</p>
鮮魚	<p>鮮魚の入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は16%上回った。</p> <p>品目別には、まいわし、ふぐの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。びんちょう、まだい(天然)の入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。</p>
冷凍魚	<p>冷凍魚の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は10%上回った。</p> <p>品目別には、冷まあじ、冷あかえびの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷さんま、冷やりいかの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>
加工水産物	<p>加工水産物の入荷量は前年同月比で6%上回り、輸入物を原料とする製品の値上がりから単価も13%上回った。</p> <p>品目別には、塩さば、塩ますの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。塩さんま、開干あじの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。</p>

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
( 鮮 魚 ) ま あ じ	佐賀、石川で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で 10 %上回り、単価は前年同月並みであった。
さ ば	長崎、福岡、韓国で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で 40 %下回り、単価は 43 %上回った。
あ ま だ い	長崎、山口で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で 27 %下回り、単価は 19 %上回った。
さ け	ノルウェー、北海道で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で 42 %下回り、単価は 35 %上回った。
さ ん ま	北海道、宮城で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で 9 %上回り、単価は良品物の入荷が増加したことから 7 %上回った。
か ま す	長崎、富山、鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で 40 %下回り、単価は 58 %上回った。
太 物	入荷量は前年同月比で 18 %下回り、輸入量が安定せず良品が少なかったため単価は 3 %下回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷　　さ　　け	入荷量は前年同月比で15%下回り、単価は5%上回った。
冷　　さ　　ば	入荷量は前年同月比で15%下回り、単価は18%上回った。
(加工水産物)	
塩　　さ　　け	入荷量は前年同月比で18%上回り、輸入物の値上がりにより単価は6%上回った。
い　　く　　ら	入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は42%上回った。